

奈良県における蚊媒介感染症対策（案） H27.7月

県は、国の「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」（H27.4.28策定）に基づき、県内での蚊媒介感染症患者の発生時等に、迅速に対応し、まん延を防止することを目的に、関係者と連携し、必要に応じ、下記について取り組むものとする。

平常時の予防対策

平常時から蚊媒介感染症についての情報収集を進め、県民や医療関係者等へ予防方法の普及啓発や知識、技術を有する関係者の養成に努めるとともに、蚊媒介感染症の発生に関するリスク評価を行う。

1 予防方法の普及啓発

① 県民等への普及啓発

- ・ 県ホームページや県広報誌「県民だより」、電光掲示板、新聞など、様々な媒体を活用し、媒介蚊の発生予防や防蚊対策を啓発。
- ・ 蚊媒介感染症の国内への持ち込みを予防するため、特に海外に渡航する者に対して、海外での発生情報や防蚊、予防接種等の予防対策、また、帰国後の発熱等での医療機関受診時の注意喚起を実施。
- ・ 啓発チラシを作成し、市町村等へ配布。
- ・ 観光客や海外からの旅行者に対する注意喚起となる情報発信。

② 医療関係者に対する普及啓発

- ・ 医療関係者に対し、蚊媒介感染症の国内外での発生状況をはじめ、疫学、診断治療等に関する知見について積極的に情報提供する。

③ 人材の養成

- ・ 蚊媒介感染症や媒介蚊に関する知識、また、媒介蚊の捕集、調査、駆除等の技術などを有する県や市町村職員の養成に努める。
- ・ 蚊媒介感染症に関する医療に関しての専門的知識を有する医療関係者の養成に努める。

2 蚊についてのリスク評価

① リスク地点の選定

- ・ 県内で、海外からの訪問者数が多く、かつ蚊の生息に適した場所が存在する地点からリスク地点を選定。

② リスク地点での蚊の定点モニタリング等

- ・ 市町村と連携、協力し、施設等の管理者等の協力を得て、定点を定め、媒介蚊の発生状況の継続的な観測（定点モニタリング）、媒介蚊の幼虫発生源対策、施設訪問客への注意喚起等の対応を行う。

県内発生時の対策

県内蚊媒介感染症例の発生が認められた場合には、感染の原因特定のための発生動向調査を実施するとともに、国及び発生市町村との情報共有や県民への注意喚起、積極的疫学調査等を実施するなど、感染のまん延防止策に努める。

1 発生動向の調査

①検査等の実施

- ・国内発生時に、県内発生に備え、「抗原検査」のためのキットを配備するなど、検査実施体制を構築しておく。
- ・必要に応じて、提出された検体について、病原体の「遺伝子検査（PCR）」を実施する。
- ・国と連携し、病原体の血清型等を解析し、病原体の遺伝子配列の解析を行うことにより、感染経路の究明等に努める。
- ・病原体の遺伝子検査等を実施した場合、その結果を速やかに国に報告。
- ・医師による蚊媒介感染症の診断がなされ、届出があった後においても、必要に応じ、医師等医療関係者に「遺伝子検査」のための、患者の検体等の提出を依頼する。

2 感染のまん延防止対策

①情報の共有及び注意喚起

- ・患者が発生した場合、県、国及び発生した市町村との間で、迅速に情報を共有し、国と連携しながら必要に応じ、県民への注意喚起を実施する。

②積極的疫学調査の実施及び推定感染地への対応

- ・県内感染症例に対して積極的疫学調査を実施。
- ・蚊媒介感染症に罹患したと推定される場所（以下「推定感染地」）に関する情報を収集する。
- ・必要に応じて、推定感染地の周辺の媒介蚊の密度調査等を実施。
- ・他の都道府県等への情報提供を要すると判断した場合には、迅速に情報提供し、連携を取りつつ、対策を講じる。

③蚊の駆除の指示

- ・推定感染地における蚊の密度調査等の結果や、当該推定感染地の状況から、蚊媒介感染症の感染拡大の可能性があると判断した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第28条に基づき、施設等の管理者等や市町村への有効かつ適切な蚊の駆除の指示を行う。

*具体的な対応については、国の指導のもと、「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き」（平成27年4月28日厚生労働省）により対応。

*「奈良県における蚊媒介感染症対策」については、「奈良県感染症委員会」の意見を参考に作成。

蚊

に対する対策

～デング熱の感染もととなるヒトスジシマカにご用心！～

蚊は、刺されたら不快であるばかりでなく、いろいろな感染症を媒介するおそれがあります。

予防対策は、蚊を発生させないこと、蚊に刺されないようにすることです。

そのためには日頃からの対策が大切です。

蚊に刺されないように ～成虫対策～

屋外では

- 蚊の成虫は、風通しの悪い草むら、やぶ、木が密集しているところなどに多く集まります。定期的に草刈りや木の剪定をして、蚊がひそみにくくしましょう。
- 蚊の多い場所に行くときは、長袖シャツ、長ズボンなどを着用し、素足でのサンダルばきを避けるなど、肌を露出しないようにしましょう。
- 必要に応じて虫よけ剤（忌避剤）を使い、蚊を寄せ付けないようにしましょう。
※虫よけ剤は使用上の注意を必ず守りましょう。

屋内では

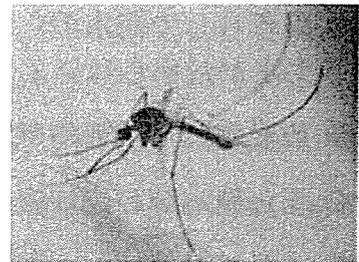
- 蚊取り線香、蚊取りマット、殺虫剤を使用しましょう。
※薬剤を使用する場合は、使用上の注意を必ず守りましょう。
- 戸の開閉を減らし、蚊が侵入しないようにしましょう。
- 網戸や防虫網を設置し、網戸の破れや窓枠の隙間等は補修しましょう。

主な蚊の種類



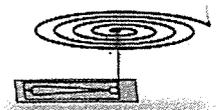
ヒトスジシマカ

5月頃から10月下旬頃まで活動します。主に昼間に活動し、移動範囲は狭く、ほんの小さな水たまりにも発生します。デング熱やチクングニア熱を媒介することがあります。



アカイエカ

冬季以外に活動します。主に夜間に活動し、移動距離は広く数kmに及ぶこともあります。人家周辺のやや汚れた水場によく発生し、屋内によく侵入します。ウエストナイル熱を媒介することがあります。



蚊を発生させないように ~幼虫対策~

蚊は水際や水面に卵を産み付け、幼虫（ボウフラ）やサナギのうちは水中で育ちます。蚊の発生源となる水たまりなどに対する対策が重要となります。

蚊の幼虫の発生しやすい場所



そのほか…

屋外の放置容器（空きビン、ペットボトル、バケツ、じょうろ など）、屋外に放置された子どものおもちゃ、排水溝、竹の切り株、雨よけのシートのくぼみ、詰まった雨どい、墓地の花立てなどにほんの少したまった水でも発生します。

蚊を発生させないためには

水が取り除ける場合

- 野ざらしで雨水のたまる容器や子どものおもちゃなどは、片付けるか逆さに伏せて水がたまらないようにしましょう。
- 放置された空き缶や空きビンなど不要なものはできるだけ片付けましょう。
- また植木鉢の受け皿の水はこまめに捨てましょう。
- 古タイヤにはシートをかぶせるか、雨のかからない場所に置きましょう。
- ブロックの穴などはコンクリートや土、充填剤などで埋めましょう。
- 雨よけシートなどは、たるんでくぼみができないようにしましょう。

水が取り除けない場合

- 防火水槽や排水ますなど、水を除くことができないものには、ふたをしたり防虫網を掛けたりして蚊が侵入しないようにしましょう。
- 防火水槽や庭の池は、金魚やメダカを放つとボウフラを食べてくれます。

蚊の駆除等についてのご相談・駆除の依頼については

一般社団法人奈良県ペストコントロール協会

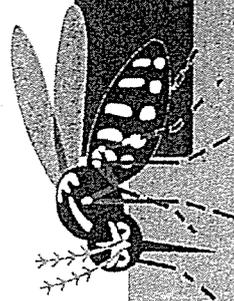
電話：0742-23-7312

URL：<http://www.pestcontrol.or.jp/pcga/kinki/nara.htm>

※ 内容によっては有料となります。

夏のおでかけ「蚊やダニ」にご用心

蚊やダニは刺されると、いろいろな感染症を引き起こすおそれがあります。



- 野山に行く時はできるだけ肌を露出しない。
- 草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。
- 虫よけスプレーを活用する。



奈良県保健予防課

TEL 0742-27-8612

詳しくはこちら↓

奈良県 保健予防課 蚊

検索

※なら健康だより※ vol.58

平成27年 7月27日(月)～8月2日(日) 肝臓週間

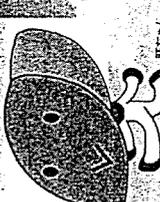
肝臓は“沈黙の臓器”と言われ、肝炎ウイルスに感染していても、熱や痛みなどの症状はほとんどありません。知らない間に肝硬変や肝がんが進行することも、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、すみやかに受けましょう。検査結果が陽性の場合、すぐに専門医の受診を。

肝炎Q&A

- ◎ 健康診断じゃダメなの？
- ◎ 通常の健康診断では、肝機能検査だけ行われてる場合が多いです。
肝機能検査とは別に肝炎ウイルス検査を受けないと、肝臓が肝炎ウイルスに感染しているかどうかはわかりません。ただし、健康診断等の結果報告書に「HBs抗原」や「HCV抗体検査」の項目があれば、それはB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの検査を受けていることとなります。
- ◎ 肝炎ウイルス検査はどんな検査？ 費用は？
- ◎ 採血だけで、原則初回は無料です。
- ◎ 感染がわかったらどうすればいい？
- ◎ 検査結果を持って、肝臓専門医がいる医療機関を受診してください。
インターフェロン治療をはじめ、最近では飲み薬だけで治療できるようになってきています。今なら国からの医療費助成も受けられます。

主な感染経路

- 肝炎ウイルスが含まれている血液の輸血等を行った場合
 - B型肝炎ウイルスに感染している人と性交渉をもった場合
 - 集団予防接種の際に注射器の連続使用が行われた場合 等
- 注) 国は昭和33年に注射針、昭和63年に注射筒を、接種者ごとに四回替えることを定めている。



肝臓がん

夏のおでかけ「蚊やダニ」にご用心

夏休みに出かける機会が増える野山や大森の人が集まる公園等には、蚊やダニ(マダニ)が潜んでいます。蚊やダニは刺されたら不快だけでなく、いろいろな感染症を引き起こすおそれがあります。



小さな水たまりでも発生

マダニは草むらの中の敷面に生息



蚊やダニに刺されないように

- できるだけ草むらに入らない。
- 野山に行く時はできるだけ肌を露出しない。
- 素足で靴をはかない。
- 草の上を直接座ったり、寝転んだりしない。
- 地面や草の上にタオルや服を置かない。
- 虫よけスプレーを活用する。

平成27年度 奈良県風しん抗体検査事業スタート

～将来の妊娠に備えましょう～



妊娠前半期の女性が風しんにかかると、胎児が心疾患や白内障、難病などの「先天性風しん症候群」と呼ばれる症状を発症することがあります。奈良県では、「先天性風しん症候群」の予防のために、主にこれから妊娠を希望される方(配偶者を含む)を対象に「風しん抗体検査」を無料で実施しています。

詳しくは、奈良県保健予防課のホームページをご確認ください。

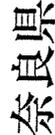
※奈良市内に住民登録されている方は、奈良市保健所のホームページをご確認ください。

奈良県 風しん抗体検査

検索



次回掲載予定日 平成27年8月25日



奈良県

近畿地方整備局	配布日時	平成27年 6月18日 (木) 14時00分
資料配布		

**『発見！意外なホットスポット!!』
ビッグデータを用いて訪日外国人の
滞在先を初めて正確に分析しました！**

○これまで、訪日外国人の滞在先はアンケート等で調査しており、地名などに詳しくないことから、正確な滞在先が把握できていませんでした。

○そこで、近畿地方整備局は(株)ナビタイムジャパンが提供する訪日外国人向けのアプリを活用することで、関西における訪日外国人の滞在先を初めて正確かつ詳細に分析を行うことが出来ました。詳細は6/19～20に金沢市で開催される第12回観光情報学会全国大会で報告します。

○分析から判明した事

- ・昼夜別の滞在比率は府県ごとの差が大きく、大阪府の夜間滞在者数が昼間を上まわることに対し、奈良県では昼間の2割程度
- ・USJなど都市型観光施設周辺にアジア系来訪者が集中し、歴史文化的観光施設へは欧米系来訪者が長く立ち寄る傾向

取 扱 い

配 布 場 所

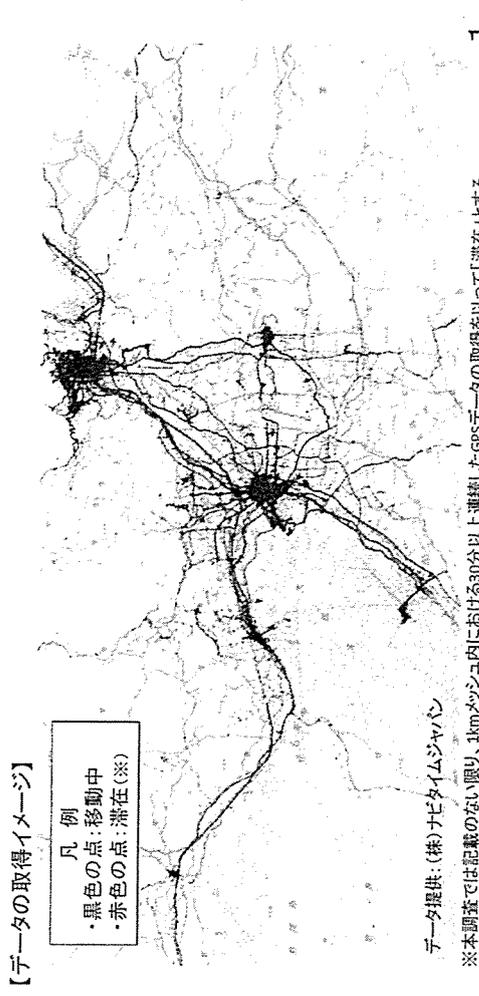
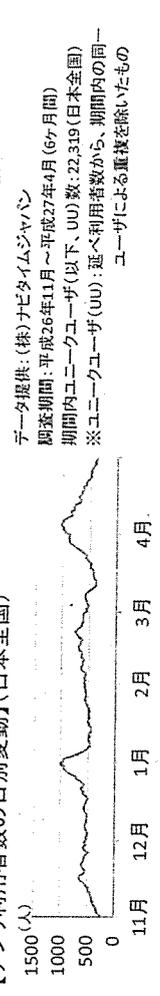
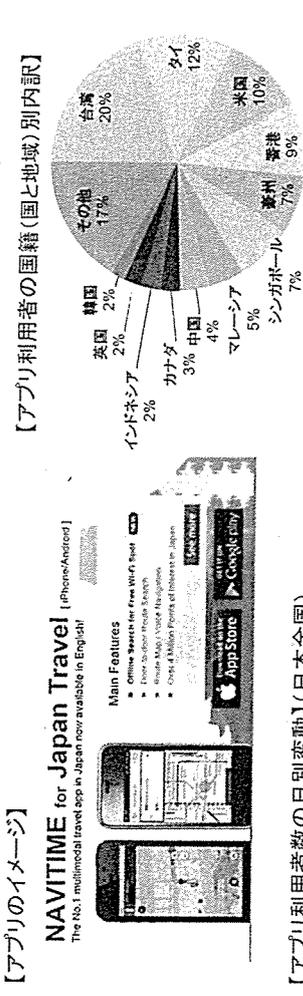
近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
京都府政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ
奈良県県政・経済記者クラブ

問 合 せ 先

近畿地方整備局 企画部 広域計画課
課長 木戸 一善
課長補佐 平井 義博 電話：06-6942-4090

1) 訪日外国人の移動実態に関する分析について

【本調査の目的】
○平成26年に関西を訪問した訪日外国人は530万人(推計値)で、過去最大となりました。関西における訪日外国人の移動実態の把握を正確かつ詳細に把握することは、訪日外国人の受け入れ環境を整備するうえで近年ますます重要になっていきます。
○しかし、訪日外国人の詳しい滞在先や移動先については、これまでアンケート等で調査しており、地名などに詳しくないことから詳細な移動実態が把握できていなかったため、今回、ビッグデータを活用した調査を実施しました。
【調査に用いたビッグデータ】
○(株)ナビタイムジャパンが提供する訪日外国人向け英語アプリ「NAVITIME for Japan Travel」を用い、平成26年11月～平成27年4月の6ヶ月間に取得した関西における訪日外国人の移動実績について、統計処理を行った上で分析を実施しました。



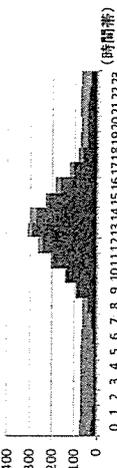
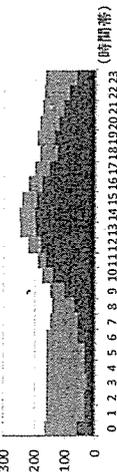
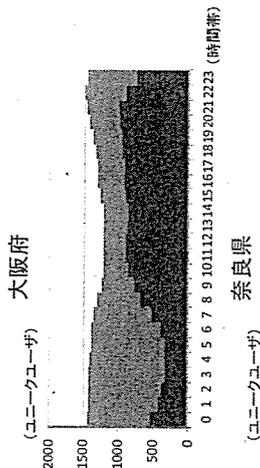
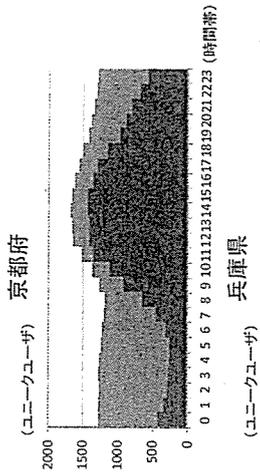
4) 関西地方における立ち寄り先について (時間帯別)

5) 都市別の立ち寄り先について (京都市)

訪日外国人滞在者を時間帯別に集計し、昼夜における立ち寄り傾向の違いをエリア別に分析。

【府県・時間帯別 滞在者数変動グラフ】

- 宿泊者は大阪府・京都府へ集中する傾向があり、特に大阪府は日中よりも夜間の滞在者数が多い。
- 奈良県は特に夕食時以降の落ち込みが大きく、夜間観光客の獲得に課題。

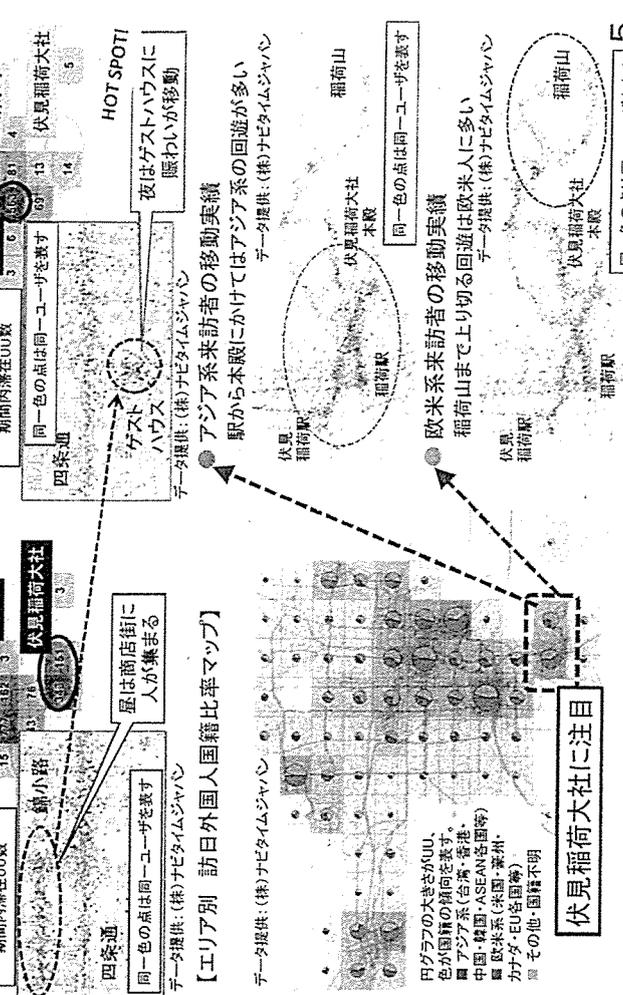
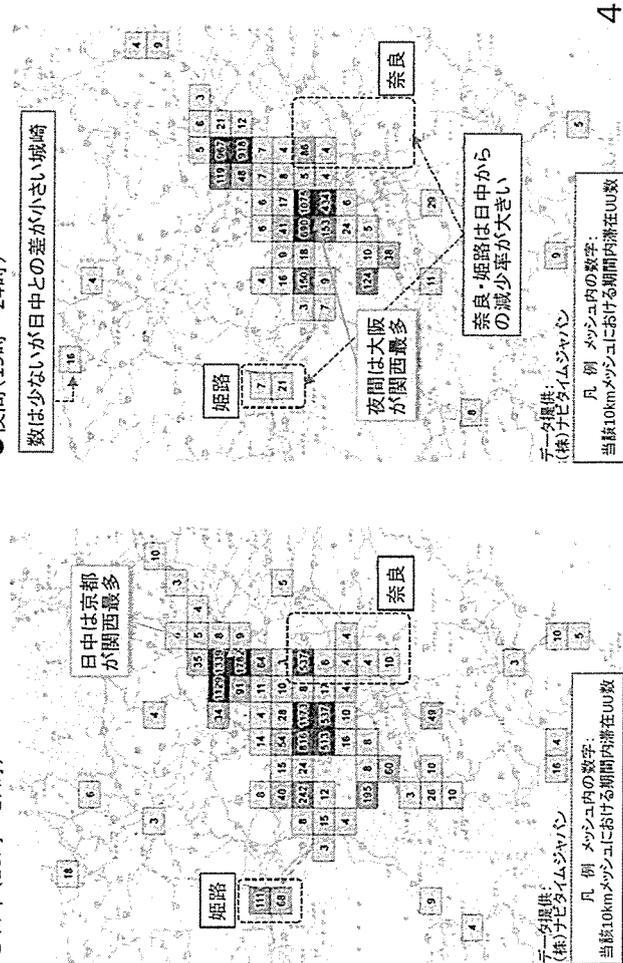


凡例: ■ 活動中 ※1 ■ 休憩・宿泊中 ※2

データ提供: (株)ナビタイムジャパン
 ※1 実測に取得された位置情報から(滞在/移動)を判定
 ※2 移動実績がなくデータ取得できない時間帯について、前後時間帯の位置情報からデータを補完

【エリア・時間帯別 訪日外国人滞在者数マップ】

● 日中 (10時～17時)



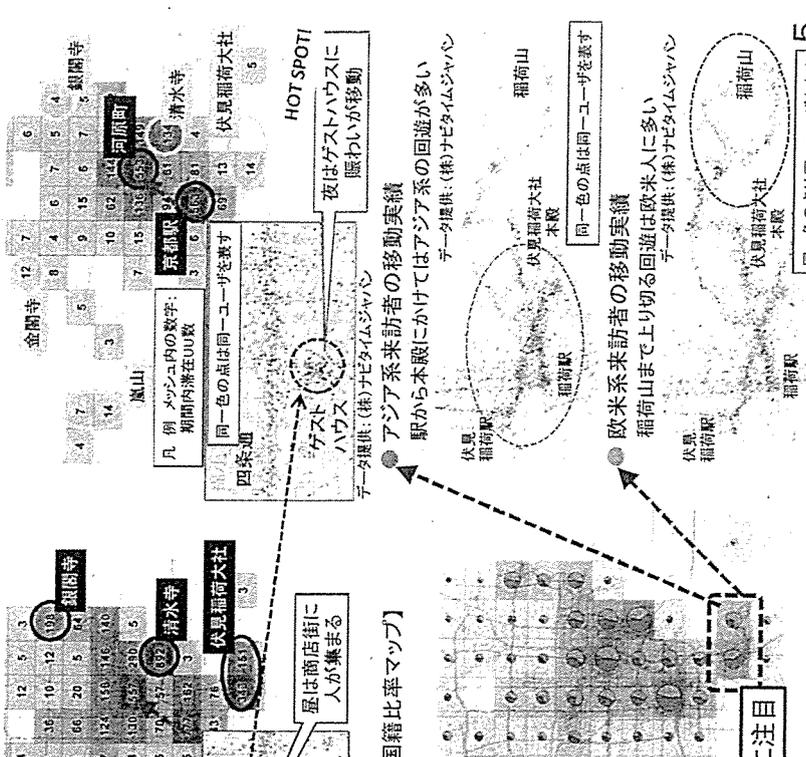
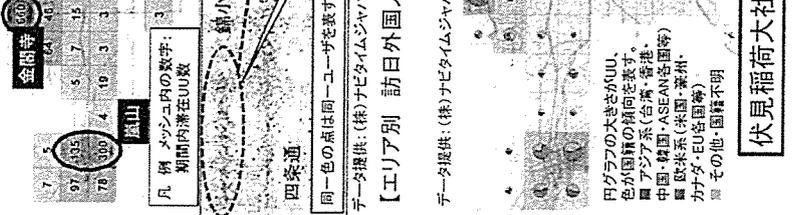
【エリア別 訪日外国人滞在者数マップ】

データ提供: (株)ナビタイムジャパン
 京都市における訪日外国人の立ち寄り先について、エリア別 (1kmメッシュ) 別の概況把握に加え、時間帯別・国籍別の比較分析を実施。

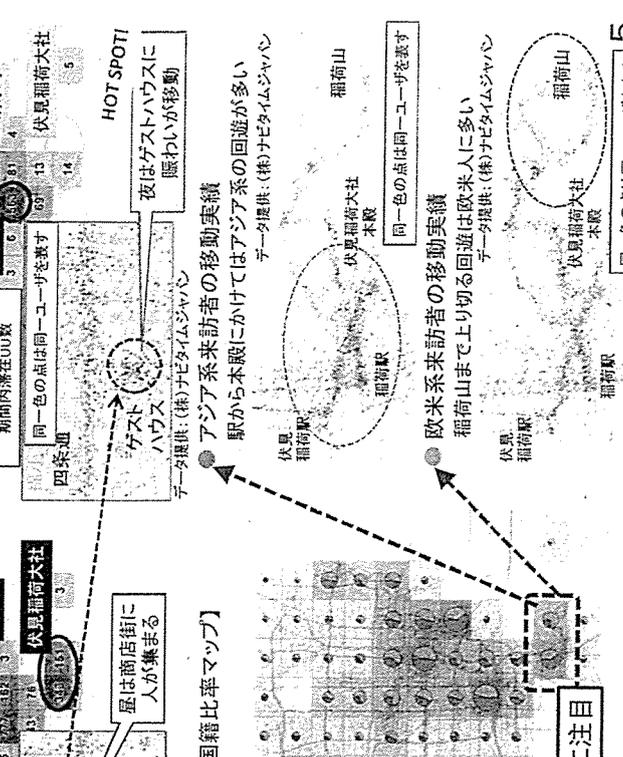
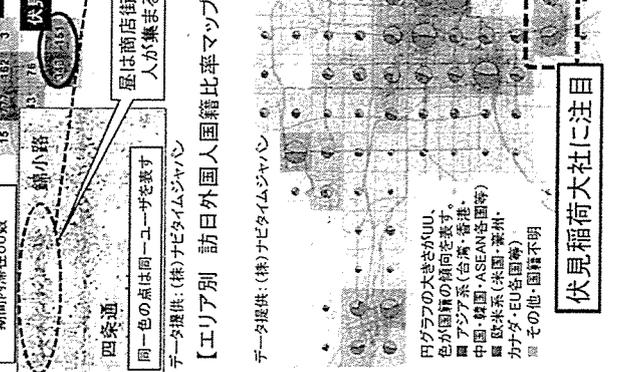
○ 日中は市内各地の寺社仏閣に訪日外国人が点在するが、夜間は京都駅・河原町周辺の一部繁華街に賑わいが集中。

○ 取得したGPSデータをマイクロに分析すると、同じ繁華街や神社の中でも、時間帯や国籍により、回遊パターンに差が見られる。

● 夜間 (19時～24時)



【エリア別 訪日外国人回遊率マップ】



8) 都市別の立ち寄り先について(奈良市)

奈良市における訪日外国人の立ち寄り先について、エリア(1kmメッシュ)別の概況把握に加え、時間帯別・国籍別の比較分析を実施。

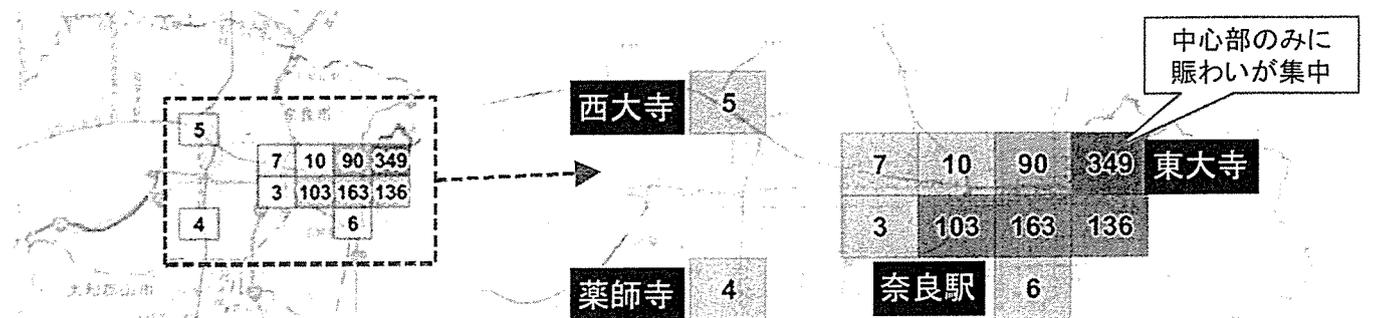
○訪日外国人の滞在が、県内では奈良市中心部に集中し、国内では観光地として著名な法隆寺や明日香村においても殆ど回遊が見られない。

○中心部も日中は東大寺中心に賑わいを見せるも、19時以降は県外へ流出し、殆ど人の動きが無くなる。

【エリア別 訪日外国人滞在者数マップ】

● 広域

● 市中心部拡大図

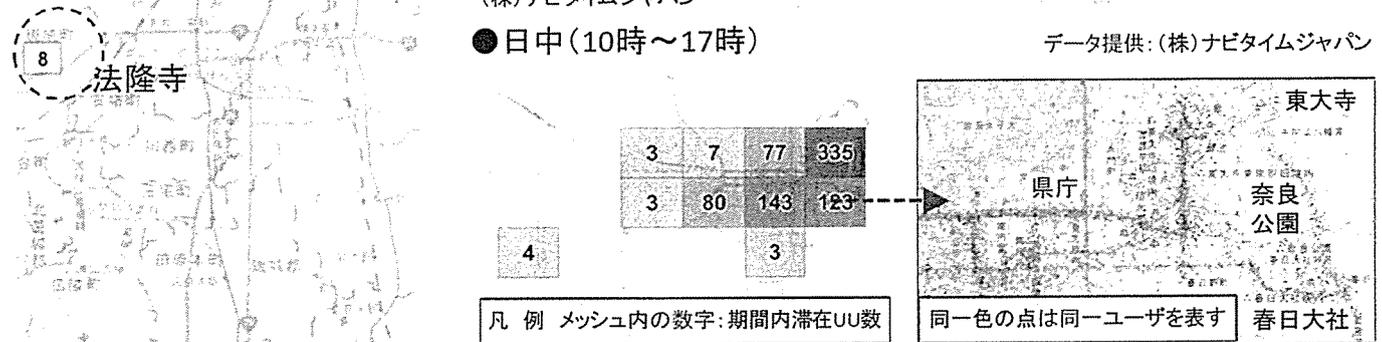


データ提供:
(株)ナビタイムジャパン

凡 例 メッシュ内の数字: 期間内滞在UU数

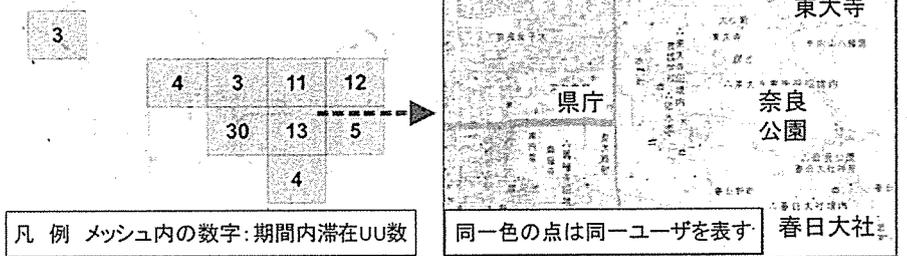
● 日中(10時~17時)

データ提供: (株)ナビタイムジャパン



凡 例 メッシュ内の数字: 期間内滞在UU数

● 夜間(19時~24時)



凡 例 メッシュ内の数字: 期間内滞在UU数



データ提供:
(株)ナビタイムジャパン

凡 例 メッシュ内の数字: 期間内滞在UU数

【エリア別 訪日外国人国籍比率マップ】

円グラフの大きさがUU、色が国籍の傾向を表す。
 ■ アジア系(台湾・香港・中国・韓国・ASEAN各国等)
 ■ 欧米系(米国・豪州・カナダ・EU各国等)
 ■ その他・国籍不明

欧米・アジア系ともバランスよく訪れる



平成 27 年度 奈良市における蚊媒介感染症対策について

1. 目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号）及び「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」（平成27年厚生労働省告示第260号）に基づき、蚊の発生抑制の取り組みや早期診断体制の整備など平時からの備えを万全にするとともに、国内感染患者発生時には感染拡大を未然に防止することを目的とする。

2. 実施内容

1) 平常時の予防対策

(1) リスク地点の対策

「 Dengue 熱・ Chikungunya 熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き（平成 27 年 4 月 28 日厚生労働省作成）」に基づき検討した結果から、リスク地点に該当すると判断したところの定点モニタリング（成虫）を本年度 7 月から実施する。

- ・実施期間：7 月～10 月
- ・実施頻度：月 1 回
- ・設置場所：奈良市内 1～2 箇所。

※開始当初 7 月は 2 箇所、以降は蚊の採取数が多い 1 箇所。

(2) 知識の普及啓発

ア. 外国人観光客に対する啓発

外国人観光者を対象に、市内の宿泊施設や観光地・観光案内所等に対して主として、個人による防御対策の推進のため、観光地のトイレや施設等約 45 箇所にポスター掲示、奈良市旅館組合及び簡易宿泊所に対してポスター及びパンフレット配布を行う。

イ. 市民に対する啓発

市民に対し、ホームページ及びしみんだより（7 月号に掲載済み）を用いて①病気に関する知識の普及②個人による防御対策の推進③蚊の発生源対策への取り組み推進、等の啓発を行う。

2) 発生時の対策

患者発生時には、「 Dengue 熱・ Chikungunya 熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き（平成 27 年 4 月 28 日厚生労働省作成）」に基づき、まん延防止対策を実施する。

(1) 積極的疫学調査の実施・推定感染地の対応

ア. 症例及びリスクのある同行者と同居者に対する調査

イ. 患者及び蚊の遺伝子検査（PCR 検査）を奈良県保健研究センターに依頼し行政検査の実施

ウ. 推定感染地及びウイルス血症時期の滞在地に対する対応の検討

(2) 感染症法第 28 条に基づく施設管理者（奈良公園の場合、奈良県公園事務所を想定）への駆除の指示

調査の結果、蚊媒介感染症拡大の蓋然性が高い場合は、施設の管理者等に蚊の有効かつ適切な駆除の指示を行う。

3) 医療の提供

医療機関へ、ホームページ等で厚生労働省「 Dengue 熱・ Chikungunya 熱の診療ガイドライン」の情報提供及び普及啓発を行う。

蚊の用心。一刺し用心。デング熱。



緑の多い木陰やヤブなど、蚊の発生しやすい場所に立ち入る際には、次のことに気を付けてください。

- ◎長袖シャツ、長ズボンなどを着用し、肌を露出しないようにしましょう。
- ◎素足やサンダル履きはできるだけ避けましょう。
- ◎必要に応じて虫除け剤などを使用しましょう。

奈良市保健所

预防登革热须知



如果你去蚊子出没频繁的树荫、草丛、凉亭等户外阴暗处时，应穿着长袖衣服及长裤，不要穿凉鞋，避免光脚，并在外露的皮肤及衣服上涂蚊虫驱避药物。

奈良市保健所

Beware of the mosquitoes!

Let's protect against mosquito bites!



Beware of DENGUE Fever!!

There are many mosquitoes in the woods and bushes etc...

When you go into such a place, please beware of the following:

- ◎Let's wear long sleeves and long pants, and please do not expose the skin.
- ◎Please avoid to be on bare foot and to wear sandals as much as possible.
- ◎Please use a bug repellent (Bug Spray), if necessary.

모기 조심 "뎅기열"



나무 그늘이나 덩굴 등 모기가 발생하기 쉬운 곳에 갈 때는 다음 사항을 주의하시기 바랍니다.

- ◎긴소매, 긴바지를 착용하여 피부가 노출되지 않도록 해주세요.
- ◎맨발에 샌들을 신지 않도록 해주세요.
- ◎필요에 따라 벌레퇴치제를 사용하세요.

나라시 보건소